

ガンコ親父の

松次郎は最近腰を痛めたり、夏は海で脚がつって溺れかけたりした。普通は体力の衰えが気持ち悪くしてしまうことも多いが、松次郎の頑固さはそんなに軟弱ではなかった。だが、この世の中で唯一、どうしても可愛すぎる孫たちだけにはかなわない。「じいじ」と松次郎を呼ぶ声が聞こえると、骨を抜かれた日和見親父に早変わりした。昨日などは部屋の中で転がっていた積み木を踏んづけてしまつて、足の裏が悲鳴を上げた。以前だったら、掃除が行き届いていないと、間違ひなく雷を落とすものだ。しかし、孫の譲(ゆずる)の顔が浮かぶと、何も言わずに黙ってそれを拾い上げ、道具箱に戻した。

次男の学は偶然にもその整理整頓に

奄美黒糖焼酎

敵しい松次郎の「怒らなかつた光景」を目にした。「親父、なんか、最近元氣ないよな？」と学は貴代に尋ねた。「いい年だからね、お父さんも」と言いかけて、貴代は気づいた。「そういえば確か、成人病の定期検診があつたけど、検便なんかもしてたわね」。どこか悪いところでも見つかつたんじゃないだろうか、学は余計なことを言った。「そういえば、最近はお飯の量も少ないし」貴代は毎年見せてもらつた検診結果を、今年はまだ見せてもらつてなかつた。家族に言いづらい悪い結果が出たのだから。色々考えていると、貴代の頭の中は心配事が次々に思い浮かび、膨らみ、不安が巨大な雪だるまのように成長していった。大声で怒鳴られることのない最近はずいぶん穏やかではあつたが、ガンコ親父一家としては活気がなくてやっぱり何か物足りない。「思い切つて、親父に聞いてみたら？」と学は母親の貴代に言った。

晩酌の「しまっちゅ伝蔵」のグラスを松次郎に渡しなが、貴代は思い切つて尋ねた。「あなた、最近元氣ないみたいだけど、何かあつたんですか？」瞬間、松次郎はぎくつと固まつた。「みんな心配していますよ」「そうか、すまん。これ以上迷惑をかけてはいかな。実は…」と松次郎はポツポツと話し始めた。何があつても驚かないように貴代は腹を決めた。

松次郎は孫の譲への孫の日(10月第3日曜日)の贈り物に対する良案が出てこずに、ずつと1ヶ月もの間、悩んでいたのだった。その日が迫ってくるのに合わせて焦りも強くなり、決めきれないストレスにより元氣が無くなつた。ようだ。ポカンとしながらも貴代は胸をなでおろした。「ところで、今年の成人病健診の結果はどうでした？」と貴代は尋ねたが、それには全然問題は無いようだった。無敵の鉄人松次郎にも成人病よりも怖いものがあり、それが孫へのプレゼント選びにつきまとうストレスだなんて、ただ、この人のストレスも相当にガンコなものなんだろうと思うと、貴代はつい笑つてしまつた。

そして「ボスの日があるってこと、親父はきつと知らないだろうな。10月16日だから、今年は孫の日と一緒になんだ」と言つた学の言葉の思い出した。「俺には何もくれないのか」と頑固にヘソを曲げられてもたまらないわ、と貴代は急いで焼酎のおかわりを松次郎に渡した。

25度
好評発売中



喜界島酒造株式会社
鹿児島県大島郡喜界町赤連2966番地12
☎0997(05)0251

2009年10月喜界島は「日本で最も美しい村」連合に選ばれ、加盟しました。喜界島酒造はこの活動を応援しています。



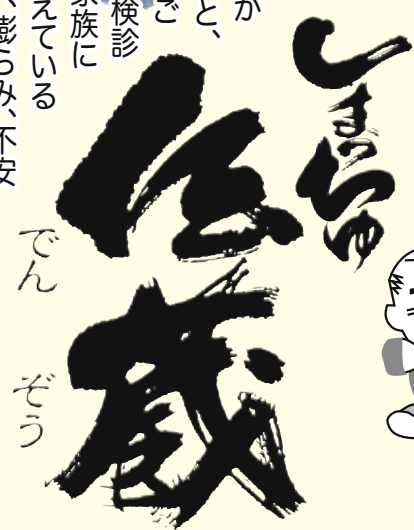
900ml (25度) 1800ml (25度) 1800ml (25度)

昔ながらの手造り
こだわり焼酎

喜界島の豊沃な大地の恵と豊かな自然の中で、永年の伝統に受け継がれた製法でじっくりと醸しあげた「しまっちゅ伝蔵」黒糖焼酎の味を全面に出し昔ながらのkokoroのある味と香りです。

おかげさまで「創業100周年」

常圧蒸留



<http://www.kurochu.jp> お酒は20歳になってから。お酒は楽しく適量を。飲酒運転は法律で禁止されています。妊娠中や授乳期の飲酒はお控えください。

ボスの日に乾杯!!